

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第649号 2024年3月10日

信徒大会開催

2月11日(日)11時半のミサ後、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、しばらく開催を見送ってきた山手教会の信徒大会を4年ぶりに開催することができました。コロナ禍でも信徒大会の資料だけは作成して信徒の皆さんに配布していましたが、対面での開催となると準備する教会委員も少しずつメンバーが変わっていて、4年前の記憶も薄らいでいたことから、どのように開催するのかを確認しながらの準備となりました。まずは総会のような決議を行う場ではないことの確認、でも信徒の皆さんの生の声を直接聴くことができる数少ない場であることの確認など、教会委員自身がどのように信徒大会に臨むのかを整理してからの開催となりました。

そして、当日、まずは主任司祭の鈴木真神父様より、教会の活動も第3地区や教区の活動も、コロナ禍の影響で以前と同じように行えなくなっていたため、コロナ禍後の今年は再開に伴い、組織によっては再構築の必要性も出てくるという趣旨のご挨拶をいただき、信徒大会は始まりました。

その後、総務の宮さんから資料に基づき説明がなされました。まずは、神父様の挨拶でも触れられたコロナ禍後の教会活動に対する教会方針と、現在開催中のシノドスに呼応する形で触れられているもう一つの教会方針の説明がなされ、続いて昨年実績と今年の予定の説明がなされました。特に、コロナ禍や高齢化などによって再構築の必要がある冠婚

葬祭の奉仕グループの再建の必要性や、コロナ禍によって一段とハードルが高くなった飲食を伴うバザーの再開や、バザーそのものの今後の是非についてなど、すぐに元どおりとはいかない教会組織の事情説明も併せてなされました。

引き続き、財務担当の佐藤さんからコロナ禍の献金実績と、その影響を受けているコロナ禍後の現在の教会の財務状況の説明、また財務の立場からの今回の聖堂修繕の説明と修繕にまつわる財務的な説明がなされました。

また、この機会に事前に説明をしておきたかった今後の駐車場の利用についての説明がなされ、最後に教会委員長挨拶というプログラムの中で、当日参加していた教会委員全員が前に出て、それぞれ役職と名前を自己紹介していただきました。

最後に質疑応答がなされ、説明があった冠婚葬祭の奉仕グループの件や、今年迎える梅村司教様の司教叙階25年で何かするのかななどの質疑があり、答えられるもの、持ち帰って検討すべきものなど、課題もいただきながら信徒大会を終了しました。信徒大会終了後は、教会ホールで福祉委員会の皆さんに準備していただいた茶菓をいただきながら、暫しの歓談のときを持つことができました。

コロナ禍自体は遠い過去のように感じるようになりましたが、それによって壊されたものの再建には、まだまだ時間と労力が必要だと、信徒大会を振り返り改めて思われました。

(教会委員会 委員長 小倉 謙)